

# 図書館のお仕事

## その2 県域の図書館を結ぶ



図書館を訪れるみなさまの“知りたい”“読みたい”という思いは、千差万別です。宮城県図書館では、その一つひとつに答えていくために県内市町立図書館や公民館図書室と連携しながら、県内全域に向けた図書館サービスを展開しています。今回は、本誌28号「図書館のお仕事」の第2回目として、県域を結ぶ図書館ネットワークについてご紹介します。

### ●宮城県内の図書館事情

宮城県には現在、36の市町村がありますが、そのうち図書館を設置しているのは21市町です。1市町につき図書館1館というところがほとんどですが、中には加美町の中新田図書館と小野田図書館、登米市の迫図書館と登米図書館などのように、ひとつの自治体の中で2館体制をとるところもあります。あるいは、石巻市や気仙沼市などのように、本館一分館体制をとるところもあります。いずれも、市町合

併を機に図書館のあり方を整備し直したものです。

一方で、図書館を設置していない町村では、公民館図書室が住民の読書施設の働きを担っています。おはなし会や展示会など、活発に住民サービスを展開している公民館図書室もあります。

本館では、県域の図書館や公民館図書室(以下「図書館」と総称する)を結び、県民の皆様により身近に感じられる図書館サービスを提供するために、図書館資料と職員を結ぶネットワークを構築しています。

### ▶▶図書館を結ぶネットワーク



梱包した資料は、県域の図書館へ向けて運ばれます。

### ■もっと近くで 利用できますー

読みたい本や情報が身近な図書館で見つければよいのですが、そうでない場合には、お住まいの地域にある図書館を通して、他の図書館の資料を取り寄せ、利用することができます。

本館が所蔵する資料に対しても、取り寄せ依頼が毎日のように舞い込みます。依頼を受け付けた資料は、各図書館ごとにまとめて梱包し、毎週1回宅配便で発送しています。また、他館同士で貸借される資料についても、本館経由により一括で梱包・発送しています。多い時には、一度に発送する資料の数が100点を超えることもあります。



依頼された資料がどうか確認しながら、梱包します。

### 物流の ネットワーク

Delivery



### 図書館職員の ネットワーク



宮城県  
図書館

### ■図書館サービス向上のためにー

図書館では、数多くの資料を収集・保存していますが、資料を探しやすいように整理したり、情報を探す方のお手伝いをするためには、図書館職員による日々の工夫や努力が欠かせません。本館では、図書館職員を対象として、破損した資料を修理する実技を行ったり、調べものに役立つ資料(レファレンスツール)について学ぶなど、専門的な研修会を主催しています。また、年に2回は各図書館を巡回して、各図書館の現状や困っていることなどの情報を交換しています。

職員がお互いに学びあい、情報を共有することで、県域全体の図書館サービスの向上を目指しています。



「点字に挑戦！」演習の様子



多賀城市立図書館を会場として行ったレファレンス研修会

職員がお互いに学びあい、情報を共有することで、県域全体の図書館サービスの向上を目指しています。



### 情報の ネットワーク

### ■より迅速に、 効率よくー

資料と職員のネットワークを強力にバックアップしているのが、「宮城県図書館情報ネットワーク」(以下、略称「MY-NET」

(マイネット)というです。MY-NETは、参加登録している図書館だけが利用できるオンラインシステムです。蔵書の横断検索や、他の図書館に対する資料取り寄せの依頼を行うことができるので、図書館間における資料利用の情報を一元的に管理することができます。また、利用者からのレファレンスについて、自館で所蔵する資料だけでは回答が難しい場合、他の図書館で所蔵する資料について照会をかけることもできます。

MY-NETは、県域の図書館の結びつきをより円滑で効率的なものとするのにはならない、情報のネットワークです。



MY-NET(宮城県図書館情報ネットワーク)